

平成十八年

一、市町村史・地区史

市史では、大野市が『大野市史』第十一巻「方言編」を発行した。方言だけをテーマに独立させて編集した自治体史は、全国でも珍しい。失われつつある方言を記録した貴重な一冊となった。『勝山市史』は通史編第一巻「原始・近世」が完成し、初巻刊行から三十二年で全八冊が完結した。特に平泉寺については、これまであまり伝えられなかった平泉寺を支えた金融、土地支配などの実態に迫る内容となっており、最新の解説書となった。

町史では、美浜町が、町誌六冊目「美浜の文化シリーズ」第二巻『わかさ美浜町誌 祈る・祀る』と題し、社寺の祭礼や所蔵文書についてまとめた。美浜文化叢書刊行会は、この町誌に収録しきれなかった貴重な資料をまとめ、叢書第一巻として『ふるさとの暮らし』を発行した。祭礼や身近な生活にまつわる習わしなど当時の暮らしがうかがえる。越前町は、旧織田町からの継続事業である町史編纂事業の一環として、『越前町織田史』（古代・中世編）を発行した。特論として伝統産業である越前焼の成立と歴史について章を設けている。旧美山町は、半世紀の軌跡を振り返る記念誌『美山五十年のあゆみ』を発行、歴史をアルバム形式でつづり、福井豪雨の記録や風土も紹介している。旧清水町、旧松岡町でも、福井市、永平寺町との合併前にそれぞれこれまでの歴史を振り返る『清水風土記』、『松岡町五十年のあゆみ』を発行した。

地区史では、越前和紙発祥とほぼ同時期で千五百年の歴史がある越前市不老区（旧今立町）が、その文化と風俗に焦点を当てた『不老の里 前篇』を完成した。勝山市の勝山地区工コ推進協議会は、昭和の歴史をまとめた『昭和の勝山街道町中案内』を発行した。継体天皇ゆかりの越前市味真野地区の安治麻野コミュニティ振興会は、旧武生市との合併五十周年を記念して、

農工業の変遷や観光などの歩みを『つまし味真野』として一冊にまとめた。

二、各時代史

遺跡調査発掘関係資料としては、福井県一乗谷朝倉氏遺跡資料館から、『一乗谷朝倉氏遺跡発掘調査報告』、福井県教育庁埋蔵文化財調査センターから、『乗兼・坪江遺跡』ほかが発行された。また、福井市文化財保護センターは、『福井城跡5』、大飯町教育委員会は、『史跡小浜藩台場跡松ヶ瀬台場跡整備事業報告』、美浜町教育委員会は、『興道寺廃寺と興道寺遺跡』を発行した。

古代では、平成十九年に即位千五百年を迎える継体天皇に関する出版が相次いだ。六呂瀬山古墳群&鳴鹿大堰を愛する会は、県内外の伝承地などを力ラー写真や周辺の地図で紹介したガイドマップ『継体大王ゆかりの地』を発行した。越の国ルネッサンス実行委員会は、『継体大王御即位1500年記念誌』をまとめた。

中世では、戦国武将 武田氏の盛衰にスポットを当てた『安芸若狭武田一族（高野賢彦著）』が出され、小浜を中心に勢力を誇った武田氏について新しい研究成果が紹介されている。丸岡町民図書館名誉館長の松原信之氏は、朝倉氏の研究書として定評があり、再版が望まれていた『越前朝倉一族』を増補新装版として出版した。

近世では、鯖江藩主間部家の系譜をまとめた『間部家の人々』（竹内信夫著）が発行された。初代から九代藩主まで通じた家系図はこれまでになく、鯖江藩史研究に役立つ手引書となった。越前市教育委員会は、『道遥園 襖の下張り展資料集』で、幕末の府中において書物講と名付けられた読書会が存在したことを解明し、府中知識人の教育熱の高さの一端を示すこととなった。丸岡藩の下級武士遠嶽家に残る数々の史料を、子孫の宮本久氏が読み解き、『新遠嶽家覚書』として出版した。下級武士の暮らしや勤務実態、心情まで見て取れる貴重な一冊となった。

近代では、旧美山町の郷土史研究家・高島正氏が大正元年に出版した『福井県人 樺太経営史』が、ひ孫の高嶋正夫氏により百年ぶりに復刻された。埋もれかけていた県人の樺太開拓の歴史を描写した貴重な資料が再び目の見えることとなった。

現代では、鯖江市河和田地区の住民による福井豪雨水害記録誌編纂委員会は、防災意識を高めてもらえばと『04・7・18福井豪雨 その時つるしの里・河和田は・・・』を発行した。福井新聞社は、『平成一八年豪雪記録集 そのとき福井は』を発行した。その他、福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館の青木豊昭館長が、『越前若狭 地域史の謎に挑む』と題して、古代から近世に至る県内の考古、歴史に関わる一六の謎を多面的な検証を加え解き明かしている。

逐次刊行物では、『若越郷土研究 第280号・第281号』（福井県郷土誌懇談会編）、『奥越史料 第三十二号』（大野市教育委員会編）、『鯖江郷土史懇談会誌 十二号』等が発行された。

## 二、各分野団体史

学校教育関係では、福井県立藤島高等学校在、創立百五十年記念誌を発行した。同校は、第十六代福井藩主・松平慶永によって創立された藩校明道館が前身であり、長い伝統の奥深さをつかがわせる資料となった。

創立四十周年を迎えた、知的障害者施設ハスの実の家は、『とっておきの未来のために』を、福井県精神保健福祉協会は発足四十周年を記念した『ふくいこころの華』を、福井県写真師会は、創立八十周年を祝う記念誌を発行それぞれこれまでの取り組みを綴っている。

一方、本県のシンクタンクの先駆けとして経済調査事業を手がけた福井県経済調査協会が、半世紀にわたる歴史に終止符を打ち、会報『福井経済』も最終記念号で終刊となった。

## 三、民俗・文化財・その他

鯖江市河和田地区では、鯖江市に合併して五十年を迎えるのを機に、うるしの里づくり協議会が、口碑を後世に残したいと、「河和田の昔はなし」を発刊した。嶺南地方の伝統芸能「王の舞」の研究に力を注いだ民俗学者、故・錦耕三氏の遺稿集『若狭路の暮らしと民俗』が発行された。戦後間もない頃の村の風習など当時の生活を知る上で貴重な資料となっている。前田速夫氏は、さまざまな謎に包まれた白山信仰を「白」をキーワードに追った『白の民俗学へ』を発行した。また、約三百年の歴史を持つ火祭り、勝山の左義長について、丸屋仁志氏が研究の集大成『左義長の起りと勝山左義長の変遷』を、勝山観光協会が左義長ばやしの教科書とも言える『越前勝山左義長まつり』を相次いで発行した。その他、明治から昭和にかけて東北各地に出稼ぎした、今立や河和田の漆かき職人の記録『南部の漆を支えた人ひと』を上藤紘一氏が発行、笏谷石と仏教文化がどう伝わったのかを考察する『越前笏谷石』続編を三井紀生氏が発行した。

文化財関係では、『福井県歴史の道調査報告書』（福井県教育委員会編）が、第六集 馬借街道・海の道で完結し、『ふくい無形民俗文化財第二十八号』（福井県無形民俗文化財保護協議会）が発行された。

人物誌では、福井市橘曙覧記念文学館前館長の河合清仙氏が、幕末の福井で独楽吟など庶民の心を歌った清貧の歌人、橘曙覧の旅日記『柿の薫』口語訳と『橘曙覧の人物像』の二冊を発行した。ともに曙覧の人物が浮き立ち親しみやすい人物像が現れる。ミネルヴァ書房の日本評伝選シリーズに勝山市生まれで、『皇国史観』の提唱者・平泉澄が登場した。若井敏明氏の『平泉澄み国のために我つくさなむ』で、新たな資料と関係者の取材により、社会経済史の手法を取り入れた日本中世史研究を再評価し、終戦時の謎の行動について推測している。小楠和正氏は、初代福井藩主・結城秀康四百回忌に合わ

せ、その生涯をまとめ、『結城秀康の研究』として越前松平家が発行した。福井県教育委員会は、明治時代に美術界の指導者として活躍した岡倉大心の著書「茶の本」が、ニューヨークで出版されて百周年となることから、子ども向けに解説した教材を作成し、総合的学習や歴史の授業で活用する。幕末越前府中の医師の子として生まれ、東京帝国大学初代総長や東京府知事として活躍した、渡邊洪基の生涯を描いた『渡邊洪基 明治国家のプランナー』を文殊谷康之氏が発行した。

自然科学・技術関係では、福井県建設技術公社が、県道橋の基礎資料をまとめた『ふくいの道路橋』を発行した。戦前戦後の六百七十橋について、写真と構造図付きで紹介。現在は撤去された九十九橋の往時の風景や資料も掲載されている。データを収めたCD ROMも添付され、今後の道路橋の設計や維持管理の面で有効に活用されると思われる。

文学関係では、『年刊句集福井県 平成十七年度版』（福井県俳句作家協会編）、最終編となる『福井県古俳書大観 第七編』（斎藤耕子編）等が発行された。坂井市三国町生まれの作家・高見順研究をライフワークとする坂本満津夫氏は、三冊目となる評論集『高見順の「昭和」で現代の読者に新たな魅力を紹介している。また、稲木信夫氏は、坂井市丸岡町出身の作家・中野重治の妹で詩人の中野鈴子の創作の原点を探る『すずこ記 詩人中野鈴子の青春』を発行した。

#### 四、 歴史研究施設の動向

福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館は、企画展「古文書が語る朝倉氏の歴史」、福井県立歴史博物館は、「鬼 姿と伝承」、「由利公正展」を開催した。福井市立郷土歴史博物館は、特別展「越前松平家と大安禅寺」、「福井藩と豪商」などを開催した。大野市歴史博物館は、奥越の鉱山の歴史を振り返る特別展「白山の金山」、敦賀市立博物館は、「JR直流化開業を記念して「敦賀長浜鉄道物

語、みくに龍翔館は、坂井市誕生を機に、鉄道を通してつながりを探る特別展「坂井の鉄道博覧展」、永平寺町四季の森文化館は、同町誕生を記念して特別展「永平寺町周辺の中世遺跡出土品展」を開催した。福井県立図書館は、日本最初の西洋解剖書の訳本『解体新書』を著した小浜藩医・杉田玄白の業績を紹介する特別展「杉田玄白と解体新書」を夏休み期間中に開催し、多くの来館者に見ていただいた。

なお、個人史等の資料は、割愛しました。